

佐土原RC

週報



国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

Real Happiness is Helping Others

ロータリー財団月間

1992.11.20(金) 第247回例会
1. 点鐘
2. ロータリーソング「我等の生業」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 卓話
9. 点鐘

第246回例会記録 (1992.11.13)

会長の時間 岩切正司

皆さん今晩は、本日は第246回例会です。1992~1993年度国際ロータリー第2730地区年次大会が、11月7日(土)から8日まで、鹿児島市の城山観光ホテルで開催されまして、佐土原クラブからは、児玉副会長・藤堂幹事・佐野クラブ奉仕委員長・池田職業奉仕委員長・濱田ロータリー財団委員長と私が出席しました。

登録会員数1920名、本坊ガバナーのユーモア溢れるアドレスもあり、友愛と活力に満ちた地区大会でした。いろいろなロータリアンと知り合い、2日間十分ロータリーをエンジョイさせていただきました。

大会の詳細については後日地区大会記録誌が配布されると思いますので、本日は割愛し、当日の懇親会席上の会話でちょっと感じたことを話してみます。

ロータリーは、キリスト教の博愛主義を基本にしていると言われます。キリスト教の国は、キリスト教的な人間愛が強いのです。子どもの頃から、親が他人や地域のために貢献している姿を見ているから、奉仕活動に直ちに対応できます。

ところが、日本人は儒教思想の影響を永い間受けているためか、自分が損をしても構わないから世のため人のため働くという意識は苦手です。得にならないことは関わりたくないんですね。極端に言えば、give and takeがないと日本人は集まりません。ロータリークラブの会員がなかなか増えないのは、ここらあたりに原因があるのではないかと考えさせられた次第です。

幹事報告 藤堂孝一

- 例会変更通知
・宮崎南RC 11月23日は休会
・都城北RC 11月24日の例会は、11月21日12:00から都城ニューグランドホテルで開催
- 米山記念奨学金寄付金納入明細書が送付してきました。半期分8,000円、累計76,000円になっています。
- 5月23日~26日、オーストラリアのメルボルンで開催される国際ロータリー年次大会参加旅行案内が来ています。
- ロータリーの友第11号を配布しました。

ビジター 西都RC 阿万英也君

事務局〒880-0303宮崎県宮崎市佐土原町大字西上那珂5632(有)藤堂産業内☎0985(74)2562
会長 岩切正司・副会長 児玉武文・幹事 藤堂孝一・会計 柳田光寛・会報責任者 垂水敏雄

出席報告	委員長 神宮寺 利夫
会員数	16名
欠席者数	2名
H.C出席者数	14名
出席率	87.5%
欠席者名	郡司・井下

10月ハッピー・ボイス

結婚14周年になりました。
お祝いありがとうございます。
鈴木正敏

☆11月27日(金)はシーガイアを職場訪問する予定でしたが、大光寺本堂の竣工法要参列(10:40)に変更になりました。

会員卓話 藤堂孝一

私が、東京の会社をやめて宮崎に帰るときに居た場所が御徒町といって宝石貴金属の卸店の集合している場所でした。

山手線で秋葉原駅から上野駅方面に一駅の所です。私は、千葉県の習志野にアパートを借りていましたので、毎日秋葉原下りて御徒町駅方面に歩いて現場に通勤していました。

秋葉原と言えば皆さんもご存じだと思いますが、電気関係の店が宮崎市内の橋通りと高千穂通りの商店街全てに集まっていると思ってもらっていいとおもいます。

その電気商店街を、毎日歩いて現場に通勤して、いたのですが、いつも目に止まっていたのが、コンピュータ関係の店で、いつも仕事帰りに立ち寄っていました。

皆さんの、会社でもいまではコンピューターを導入されていることと思いますが、当時のコンピューターは、金額的にスペース的にも限られていたと思います。

かつてのコンピューターといえば、一部屋を占領するぐらいの大型なもので、それを動かすのは、専門の知識を身につけた技術者でした。

素人にはとても理解できなくて誰でもがさわられるものではなく、価格もたかくて大企業でなければ導入できなかった。

それが、マイクロコンピューターの誕生によって、大型コンピューターに比べてはるかに小さく、机の上にのせられる位のコンピューターが誕生したが1982年頃だと思います、当時NEC製品で、PC8001といって価格が12万円位で発売されたのを買いました。性能としては8ビットで記憶容量が16KB程度のもので、漢字は使用出来なくてカタカナ文字しか使用出来なくてビジネスには利用出来なかった、

84年頃会社を辞めて帰るときNEC製品でパソコンのランクは最高のPC9801F-2といって16ビットRAM640KBの性能のものをもってかえりました。

しかし宮崎にはそれを動かすプログラムが、少なくて1年ばかりほこりを、かぶついて使用することはありませんでした(価格面で)。

雑誌であるソフトが紹介されたのをみて購入したのですが、こんどはハード面で無理なところがでて機械そのものを買い換える事になり、最新の機種にかえたのです。

現在はその機械でデータベース・見積書作成等で利用しておりますがなかなか自分の会社にあったソフトは金額的に高くて使用でかないのが現状である。

コンピューターを、動かす言葉について話をしてみたいとおもいます。

最初の頃は素人向きでよいとの事でBASIC言語が非常に進められていた。私もその様な雑誌を買って通勤電車の中で読んでいた、最初の頃はその様な、本をよんでる人は少なくて、だんだん読んでいる人を見かける様になったのを思い出します。

BASIC言語とは、"初心者の全ての目的にかなう記号としての命令コード"との意味ですが、これは後で付けられたもので、"基本的"と考えられるそうです。

コンピューター自体は2進数で、表したマシン語しか、うけつけないものですから、0と1で表現します。電気系統のON, OFFで判断している訳です。

2進数では、10進数と比較して 0-0, 1-1, 2-10, 3-11, 4-100 5-101で表現します。以上のように、1と0の2つの値で全ての物を表現できるのは不思議とおもいますが、2進数の1桁をビットといつてビット8個分を、1バイトといい1バイトでの組み合わせを考えると 00000000 - 11111111 すべての0と1との組み合わせで256通りあります。256種類の記号や文字を表現するわけです。